

eco サポート

(公財)山口県ひとづくり財団
環境学習推進センター情報誌第46号

Contents

- 01 環境学習講座レポート
今後の講座・イベント等開催予定
- 02 食品ロスって何？
自然ふれあいゾーンのご案内
- 03 特集「ときわ動物園の魅力」
- 04 今年度環境活動団体支援事業の交付団体
メルマガキャンペーン開催案内

環境学習講座を開催しました

環境学習講座等の事業報告は、環境学習推進センターのホームページ「環境学習のひろば」に掲載しています。

親子 食品ロスの現状とその削減について

7月5日(日) 山口県セミナーパーク

午前中は、NPO法人フードバンク山口の代表である山口県立大学准教授の今村主税氏から、本当はまだ食べられる食品が大量に捨てられている現状や、問題解決に向けた「フードバンク山口」の取組について講義をしていただきました。

午後は、フードバンク山口萩支部代表の水津真澄氏から、家庭で捨てられがちな野菜を甦らせる「魔法の温度50℃」等の便利な調理法等の紹介を受けた後、家族単位で家庭で長期間保管されがちな素麺を利用したおやつ調理実習を行いました。



親子 地球温暖化の現状と温室効果ガス削減に向けた取組

7月30日(木) やまぐち県酪乳業(株)
(株)安成工務店 他

午前中は、山口大学教授の福代和宏氏から、地球温暖化の原因と影響、パリ協定の概要、温室効果ガス削減に向けた「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」の取組とエネルギー安全保障問題について講義をしていただきました。

午後は、下関市のやまぐち県酪乳業株式会社のバイオガスプラントと株式会社安成工務店のプレカット工場、株式会社デコスの断熱材製造工場で、温室効果ガス削減に向けた取組について学習しました。



今後の講座・イベント等開催予定

詳細が決まり次第、ホームページに掲載するとともに、毎月お届けしています。メルマガジンやFacebook等でお知らせします。

一般

次世代自動車の利活用促進

日時 10月4日(日)
場所 山口県セミナーパーク 他

オオサンショウウオの保護活動と地域づくり

日時 11月29日(日)
場所 宇佐川オオサンショウウオ保護施設 他

親子

角島の海辺の生き物

日時 10月18日(日)
場所 つのしま自然館、大浜海岸等

景清洞・サファリランドで命をつなぐ動物たち

日時 11月1日(日)
場所 景清洞、秋吉台自然公園サファリランド 他

ニホンアワサングの調査と周防大島周辺の豊かな海を守るための活動

日時 12月13日(日)
場所 なぎさ水族館 他

イベント

セミナーパーク25周年

「めざせ!こどもクリエイター☆」

日時 11月15日(日)
場所 山口県セミナーパーク

研修会

第一回希少野生動植物種支援員研修会 ～コウモリの観察会～

日時 11月8日(日)
場所 秋吉台エコ・ミュージアム、三角田洞

講演会

夢トークinやまぐち講演会Ⅳ～環境学習講演会～ 「持続可能な循環型社会を目指して ～プラスチックごみの行方～」

日時 12月6日(日)
場所 山口県セミナーパーク

食品ロスってなに？

食品ロスの削減は「循環型社会づくり」のみならず、「地球温暖化対策」においても大きな課題となっています。

Q.食品ロスってなに？

A.食べられるにも関わらず捨てられている食品のことです。

具体的には、**食べ残し**や、皮のむきすぎ等の**過剰除去**、賞味期限切れなどを理由に手つかずのまま廃棄されるもの（**直接廃棄**）があります。

Q.どういう問題があるの？

A.食品の生産や運搬のために使われた多くの水やエネルギー等の資源を無駄にしまいます。また、ごみとして処分するために余計なエネルギーを消費し、CO₂を排出することで、環境に悪影響を及ぼしています。

Q.家庭で何ができるんだろう？

A. **買い物**…計画を立て、必要な食材を必要なだけ買いましょう。消費期限、賞味期限を確認しましょう。

調理…食材は丸ごと利用し、食べられる分だけを用意しましょう。

食事…完食するようにしましょう。余ったら別の料理にリメイクしてみましょう。

フードバンク活動にご協力ください！

フードバンク活動とは、「食品ロス」を集めて必要な施設や人に届ける取組です。

NPO法人フードバンク山口では、スーパーなどに常設している「フードバンクポスト」や、イベント会場などに食材を持ち寄る「フードドライブ」活動等を通じて食品を集めています。



詳しくは「NPO法人フードバンク山口」ホームページをご覧ください。



環境学習教材「食品ロス」パネルを更新しました

食品ロスってなに？

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられている食品のことをいいます。

■ 原因では？

食べ残し、むきすぎ、賞味期限切れ、過剰包装、過剰生産、過剰消費、過剰流通、過剰廃棄、過剰消費、過剰生産、過剰流通、過剰廃棄

やまぐち食べきりアイデア！

食べ残しの活用アイデア

食べ残しを上手に活用して、無駄なく食べよう！

A1版・9枚組 貸出できます
展示会等でご活用ください
お問合せ先：環境学習推進センター

食品ロスの現状や保存・活用のポイント、リメイクレシピなどをまとめています。

自然ふれあいゾーンのご案内

山口県セミナーパーク自然ふれあいゾーンでは、樹木や草花、水中生物や野鳥の観察など、身近な自然にふれることができます。この夏は自然ふれあいゾーンを散策しながら学びを深めませんか？

【県木・市町木展示園】

県や市町を代表する樹木が植えられています。

【万葉植物園】

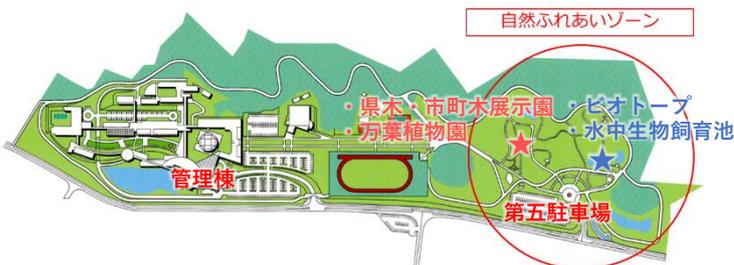
万葉集で詠まれた植物が植えられています。



【ビオトープ、水中生物飼育池】

水生生物を観察しながら、生物生息空間を体感できます。
※池に入ることはできません

どんな生き物が見つかるかな？



環境クイズラリーに挑戦してみよう！

自然ふれあいゾーンを散策しながら学習できる「環境クイズラリー」を実施しています。

クイズに参加された方には管理棟受付で粗品を差し上げます。



新型コロナ対策で中止となった環境学習講座「ときわ公園で学ぶ私たちの環境と未来」で、講師をお願いしていました宮下園長さんに、園の魅力について紹介いただきました。

「ときわ動物園が生まれ変わった！」

宇部市ときわ動物園 園長 宮下 実

日本にはいくつ動物園があるかご存じでしょうか？山口県には、ときわ、徳山、秋吉台の3つの動物園、日本全国ではなんと91の動物園があります。従来から、動物園の役割としてはレクリエーション・自然保護・教育・研究の4つがあげられていました。しかし最近では、種の保存と環境教育に重点をおくことが世界の動物園の趨勢（すうせい）になってきています。動物をただ単に見せるだけではなく、絶滅の危機に瀕（ひん）する希少種の繁殖への取り組み、さらには生きた動物をとおしての環境教育の学習拠点として、動物園が果たすべき役割は大きく変わってきています。

ときわ動物園は5年前に、「生息環境展示」という新たな展示手法を取り入れてリニューアルオープンしました。それまでの動物施設は遊園地の一角にあり、コンクリートの床と金網に囲まれた狭い施設で動物を飼育していました。新たなときわ動物園では野生動物が住んでいる環境をそれぞれの動物種ごとに再現し、動物はもちろん、その生息環境にも関心を持っていただけるように、工夫を凝らしています。コンクリートの床が土に替わり、そこにはそれぞれの環境に応じた植物を植えこみ、動物植物が一体となった生態系がご覧いただけます。



シシオザルの母子



カピバラの母親と五つ子

ときわ動物園の面積は約2ha。狭い敷地ですが、中味がぎゅっと詰まって入口から出口まで息つく暇もない、という形容がぴったりかもしれません。お客様の歩かれる園路は曲がりくねっています。そのうえ多種多様な植物を植え込んでいますので、なかなか見通しがききません。これはときわ動物園の1つの特徴でもあります。実は、このカーブを曲がったら次は何が見えるのだろう、どんな動物と出会うのだろう、お客様のわくわく感を高めるための演出なのです。狭い敷地内にもかかわらず、入口から出口までで約1kmあります。緩やかなアップダウンもありますが、小さなお子様も高齢者の方も楽に歩けます。樹木は植えて間もないため森とはまだいえませんが、数年先には動物と植物を楽しみながら森林浴とウォーキングができる名所となることでしょう。

私の一押しは、シロテテナガザルの島。10mを超える高木と2~4mくらいの中木、低木を組み合わせ森を再現し、この環境の中でテナガザルは大きな声で鳴きかわし、長い腕を使い枝から枝へと飛び移る行動（ブラキエーション）を見ることができます。

ときわ動物園へ出かけてみましょう。生きた動物はあなたの方にもっと多くの感動を与えてくれることでしょう。



シロテテナガザルの家族
まるで野生のよう



生息環境展示による
新しいテナガザルの島

2015年の3月にまず「アジアの森林ゾーン」が完成し、続いて翌年3月に「中南米の水辺ゾーン」、「アフリカの丘陵・マダガスカルゾーン」そして地元の「山口宇部の自然ゾーン」が完成し、宇部市のときわ公園内にときわ動物園が誕生しました。従来の動物施設は動物をなんとなく憐（あわ）れむようなイメージでしたが、新しい動物園は動物本来の行動を發揮させる「生息環境展示」手法を取り入れたことで動物の行動も活発化し、野生での生態やその生息環境にも目を向けていただくことで、命の大切さなど幅広い学びの場となってきたのではないのでしょうか。



テナガザルのブラキエーション



ワオキツネザルの母子

アクセス・ご利用案内

- 車 中国自動車道〈小郡IC〉より35分
山陽自動車道〈山口南IC〉より30分
山口宇部道路〈宇部南IC〉より5分
- バス 「ときわ公園入口」または「ときわ公園」下車
- 電車 JR常盤駅より徒歩15分

入園料 : 一般500円
3歳以上中学生以下200円
70歳以上250円

開園時間 : 9:30~17:00
休園日 : 毎週火曜日（祝日の場合は翌日）

※詳しくは「ときわ動物園」のホームページをご覧ください。
公益財団法人 宇部市常盤動物園協会
山口県宇部市則貞三丁目4-1
TEL : 0836-21-3541



ときわ動物園

今年度の「環境活動団体支援事業」の交付団体が決定しました

環境活動団体が子どもたちや地域の住民たちと実施する自然環境保全等の活動に必要な経費の一部を助成する事業です。

今年度の 交付団体 (7団体)

屋代島さとうみ ネットワーク

周防大島町

周防大島沿岸環境保全
及び活性化活動事業

Seeds (シーズ)

柳井市

自然環境の保全・再生
「みんなの森整備事業」

NPO法人水環境 地域ネットワーク

周南市

ヤゴ観察作戦

住吉応援し隊

周南市

住吉中学校区
ちいきプロジェクト

船平山を守る会

山口市

船平山里山
再生プロジェクト

里乃駅ランプの宿

山口市

子ども里やまなび塾

ESDうべ 推進協議会

宇部市

厚東川河口域中川
ヒヌマイトトンボ
生息代替地周辺の
自然体験学習

メルマガキャンペーンを実施します！

県内の環境学習関連施設等の講座やイベントなどの情報を月1回紹介している「環境学習のひろばメールマガジン」について、会員募集のキャンペーンを実施します。

期間中に携帯電話やパソコン等で、会員に登録していただいた方の中から抽選で、やまぐちの美味しい物がぎゅっと詰まった県産農水産物カタログギフト「ぶちうま！山口」を差し上げます。

実施期間：令和2年10月1日～11月30日

登録方法

- ①「環境学習のひろば」で検索するか、QRコードを読み込み、当センターのホームページにアクセスします。
- ②「メールマガジン会員募集」のバナーをクリックします。
- ③メールソフトが自動で起動します。本文には何も書かずそのまま送信します。

環境学習のひろば
メールマガジン
期間 令和2年10月1日～11月30日
新規登録で当たる
キャンペーン

環境学習推進センターでは、県民の皆様の環境学習をサポートするため、当センターをはじめ、県内の環境学習関連施設等が開催する講座やイベントなどの情報を紹介する「環境学習のひろばメールマガジン」を月1回配信しています。

キャンペーン期間中に携帯電話やパソコン等で、メルマガ会員に登録していただいた方の中から抽選で、やまぐちの美味しい物がぎゅっと詰まった県産農水産物カタログギフト「ぶちうま！山口」を差し上げます。

抽選で
10名様に
プレゼント
県産農水産物カタログギフト
「ぶちうま！山口」(3,500円相当)

登録方法

- ①「環境学習のひろば」で検索するか、QRコードを読み込み、当センターのホームページにアクセスします。
<https://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/index.php>
- ②「メールマガジン会員募集」のバナーをクリックします。
(ポップアップが表示されます)

「環境学習のひろば」メールマガジン会員登録申請書 詳細はこちら

③メールソフトが自動で起動します。本文には何も書かずそのまま送信します。

※同一メールアドレスは、当センターのメールマガジンをお断りします。

※登録後のメール配信停止は、ご本人の責任でお願いします。

※登録後のメール配信停止は、ご本人の責任でお願いします。

お問い合わせ先
(公財)山口県ひとづくり財団 環境学習推進センター
TEL 083-987-1110
FAX 083-987-1720
kankyo.c@hito21.jp

環境学習推進センターHP
QRコード

環境活動団体の 皆様へ

環境活動団体の皆様が主催する学習会やイベントなどの日程等が決まりましたら、当センターにご連絡ください。ホームページやメールマガジンで開催案内をさせていただきます。

また、団体の皆様が環境をテーマとした学習会や会議等を行う場合に、セミナーパークの研修室を無償で提供しています。お気軽にご相談ください。



(公財)山口県ひとづくり財団 県民学習部 環境学習推進センター

〒754-0893 山口市秋穂二島1062(山口県セミナーパーク内)
☎ 083-987-1110 ☎ 083-987-1720 ✉ kankyo.c@hito21.jp
<https://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/index.php>

環境学習推進センターHP



環境学習に関する様々な情報を提供し、
県民の皆様が環境学習をサポートしています。